

国土利用計画の策定作業の進捗状況 その2

3. 現在の土地利用の課題と今後の方向性

(1) 土地利用の新たなニーズや課題

① 土地利用区分ごとのニーズや課題

- ・農地……農業者の高齢化による担い手不足対策、生産性向上のための農地整備、遊休農地の発生防止、農地環境の保全等の対応が引き続き課題となる。
- ・森林……林業の衰退の影響により、森林整備が遅れている。県による野川上流域の水資源保全地域の指定を受け、今後のさらなる適正な土地利用が求められる。
- ・水面等……豪雨による水害等の災害対策のため、無堤防状態の解消や河川整備が必要となっている。
- ・道路……整備が進む国道 287 号や街路事業の着実な推進、市民の要望に応えられる生活道路の整備が必要となっている。
- ・宅地……中心市街地の空洞化を抑制するため、宅地等の開発をまちなかに誘導する必要がある。雇用の確保のため、未利用地が増えている長井北工業団地の整備や新たな工業用地の確保が求められている。
- ・その他……子どもが安心して遊べる公園等の施設のニーズが高まっているほか、市民文化会館等の公共施設の老朽化対策が喫緊の課題となっている。

② 地域区分ごとのニーズや課題

(まちなみ地域) 公共施設や商業施設、文化施設等の都市機能が集積する地域。

- ・街路事業の進捗や中心市街地活性化の取り組みに合わせて商業機能や公共的施設を中心市街地に誘導し、利便性の高いコンパクトなまちづくりが求められる。
- ・観光交流センター(かわと道の駅)の整備や歴史的景観を生かしたにぎわいの創出、安全で利用しやすい都市公園の整備等を進める必要がある。

(散居地域) 豊かな自然環境のもとで散居景観が広がり、長井の農業生産を担う地域。

- ・圃場が整備され優良農用地となっているが、遊休農地の発生を未然に防ぐ対策が必要となる。
- ・中小河川が多く存在し、豪雨の際に被害を受けるため、防災のための河川整備が求められる。

(里山地域) 果樹や野菜等を生産し、里山と共生する中山間地域。

- ・高品位な作物生産の確保のため、優良な畑地の保全が必要となる。
- ・中小河川が多く存在し、豪雨の際に被害を受けるため、防災のための河川整備が求められる。

(西山地域) 広大な原生林が広がり、長井の豊かな水資源を涵養する森林地域。

- ・水資源保全地域として、間伐等による適正な森林整備が必要となる。

3. 現在の土地利用の課題と今後の方向性

(2) 土地利用の方向性 (第五次総合計画との連動)

●西山地域

- ・水資源保全地域の自然環境保全
- ・荒廃森林の整備
- ・長井ダムを活用した環境教育や観光事業の推進

●散居地域

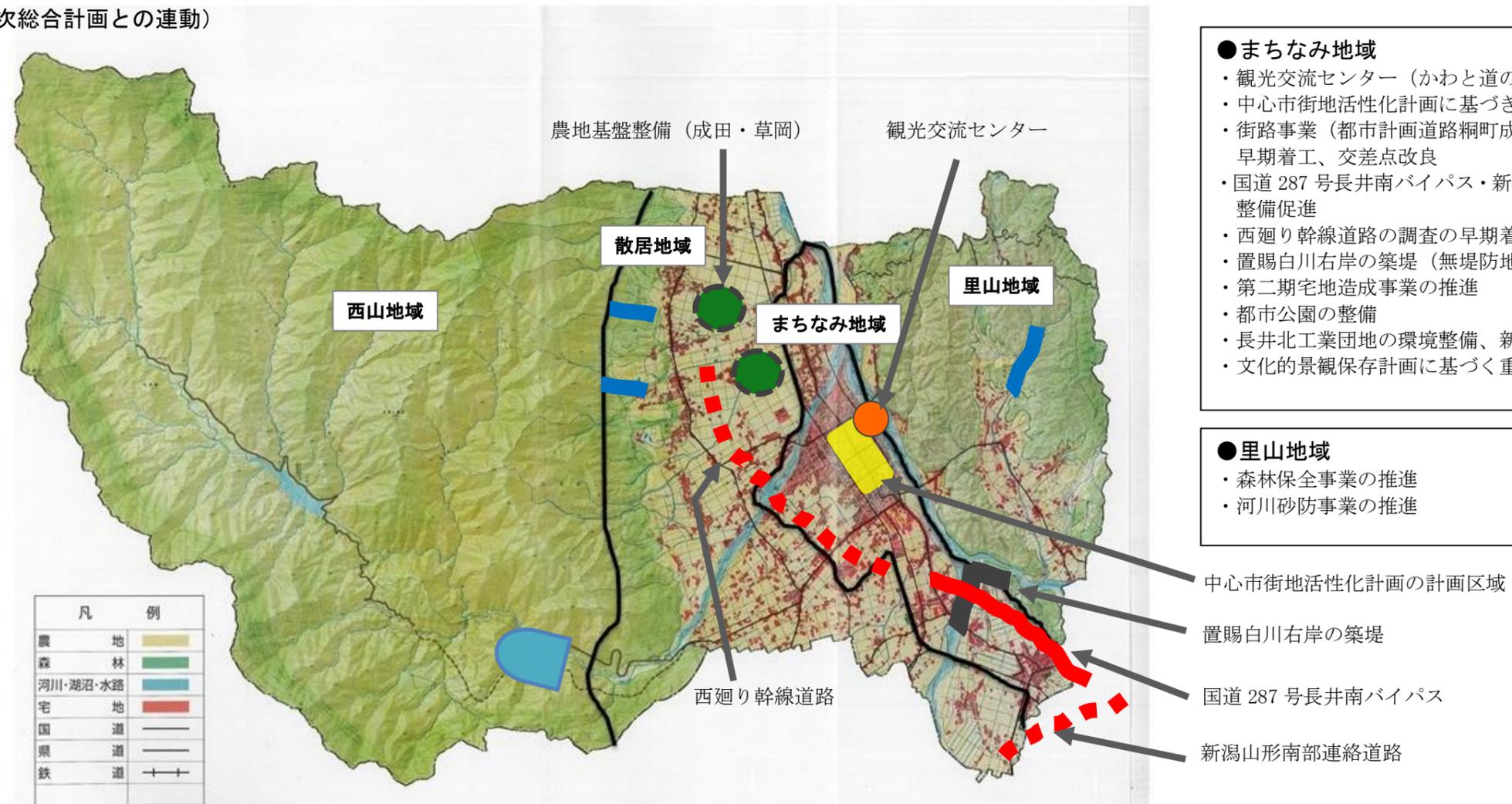
- ・成田地区、草岡地区の農地基盤整備事業の推進
- ・担い手への農地の利用集積
- ・環境保全型農業の推進
- ・河川砂防事業の推進

●まちなみ地域

- ・観光交流センター(かわと道の駅)の整備
- ・中心市街地活性化計画に基づき取り組みの推進
- ・街路事業(都市計画道路桐町成田線)の事業促進、早期着工、交差点改良
- ・国道 287 号長井南バイパス・新潟山形南部連絡道路の整備促進
- ・西廻り幹線道路の調査の早期着工
- ・置賜白川右岸の築堤(無堤防地帯の解消)
- ・第二期宅地造成事業の推進
- ・都市公園の整備
- ・長井北工業団地の環境整備、新産業団地の整備促進
- ・文化的景観保存計画に基づく重要文化的景観の維持

●里山地域

- ・森林保全事業の推進
- ・河川砂防事業の推進



中心市街地活性化計画の計画区域

置賜白川右岸の築堤

国道 287 号長井南バイパス

新潟山形南部連絡道路